伯耆町児童生徒の「学力・生活」の状況

令和８年度『全国学力・学習状況調査』結果から

４月23日に『全国学力・学習状況調査』が実施されました。その後、７月末から９月はじめにかけて、小学６年生の国語・算数、中学３年生の国語・数学・英語の調査結果が文部科学省から公表されました。その調査結果をもとに、伯耆町の児童生徒の学力と生活の様子についてお知らせします。

なお、この調査の目的は、全国的な教育施策の改善を図ることと、学校における学習と生活の指導の充実に役立てることです。また、この調査の結果は今年４月時点での児童・生徒の傾向を示すものです。



学力の状況

表１　教科の概要

小学６年	全国	鳥取県	伯耆町	県平均との差	中学３年	全国	鳥取県	伯耆町	県平均との差
児童数（公立）	922,778	4,206	84		生徒数（公立）	842,491	4,091	81	
国語	60.9	60	60	±0	国語	63.9	60	61	+1
算数	56.4	55	57	+2	数学	57.0	53	54	+1
					英語	499	470	497	+27

※本調査の小学校国語・算数と中学校国語・数学は、出題数約15問の調査です。±１ポイント以内は「同等」として取り扱っています。
※中学校英語は出題数23問の調査であり、タブレット端末により回答するCBT（コンピューターベースドテスティング）により実施されました。全国を499としたIRTスコアにより評価されます。±10ポイント以内は「同等」として取り扱っています。

表１は、本町の平均正答率を、全国および県の平均正答率（中学校英語はIRTスコア）と比較したものです。

小学６年生については、昨年度と同様に、国語は県・全国平均並み、算数は県平均をやや上回り、全国平均並みでした。中学３年生については、昨年度と同様に、国語・数学で県平均並みで、全国平均との比較では、下回る結果となりましたが、英語では県平均を上回り、全国平均並みでした。



生活の状況

◎適切な睡眠時間の習慣化ができています

（%）

質問内容	【小学６年生】肯定的な回答			【中学３年生】肯定的な回答		
	伯耆町	全国	比較	伯耆町	全国	比較
朝食を食べていますか	94.0	93.3	+0.7	90.1	90.9	−0.8
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	91.7	82.8	+8.9	87.6	80.5	+7.1
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.9	90.7	+2.2	96.3	92.4	+3.9

生活習慣についての設問です。今年度は就寝・起床時間の習慣化ができている様子が見られました。規則正しい生活習慣は、気持ちを安定させ、生活の質の向上につながります。また、よりよい生活習慣を身に付けることで、成長に必要なホルモンの分泌も促され、「からだ」「あたま」「こころ」の働きが活発になります。文部科学省の調査でも、毎日朝食をとる子どもほど学力調査の得点が高い傾向が明らかになっています。

小学校では、就寝・起床時刻をより意識して、さらに規則正しい生活リズムを整えていけるとよいでしょう。中学校では、忙しい毎日の中でも朝食の時間を大切にしていきたいものです。家庭と学校が連携し、勉強やスポーツなどで自分らしく輝けるよう、心や身体のベストな状態をつくっていきましょう。

◎学習環境・学習習慣について

（%）

質問内容	【小学６年生】肯定的な回答			【中学３年生】肯定的な回答		
	伯耆町	全国	比較	伯耆町	全国	比較
１日10分以上読書をする	58.3	46.1	+12.2	41.9	33.6	+8.3
週１回以上の学校図書館利用	58.4	17.6	+40.8	18.5	7.8	+10.7
平日の家庭学習１時間以上	62.0	49.9	+12.1	48.2	61.6	-13.4
平日の家庭学習２時間以上	12.0	21.6	-9.6	21.0	30.1	-9.1

学習環境・学習習慣についての設問です。読書の習慣化や学校図書館の利用について、全国と比較して高い結果となっています。読書によってたくさんの言葉や考え方に出会い、知識も心も豊かになることが期待されます。

また、小学校では１時間以上の家庭学習の習慣が身についている割合は全国と比較して高いのに対し、中学校では低くなっています。２時間以上の家庭学習については、小学校でも中学校でも、全国と比較して同程度の割合で下回っています。読書の習慣によって身につけた力を、家庭学習にも活用できると、より力がついていくことが期待されます。

◎自尊感情や自信

(%)

質問内容	【小学６年生】肯定的な回答			【中学３年生】肯定的な回答		
	伯耆町	全国	比較	伯耆町	全国	比較
自分にはよいところがあると思う	86.9	85.6	+1.3	86.4	84.0	+2.4
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	88.1	91.4	-3.3	92.6	90.9	+1.7
普段の生活の中で幸せな気持ちになる	96.4	92.5	+3.9	92.6	91.0	+1.6

「自分にはよいところがある」「普段の生活の中で幸せな気持ちになる」という質問への肯定的な回答が高く、自己肯定感、自尊感情の高い児童生徒が多い傾向が見られます。これは、各家庭・地域や学校で児童生徒と関わる大人が、児童生徒の言動を認め、ほめる場面や子ども同士がお互いを認め合う場面が多いことが要因として挙げられます。

◎認め合い、学び合う仲間関係

(%)

質問内容	【小学６年生】肯定的な回答			【中学３年生】肯定的な回答		
	伯耆町	全国	比較	伯耆町	全国	比較
人が困っているときは進んで助ける	97.7	92.7	+5.0	88.9	90.8	-1.9
いじめはどんな理由があってもいけない	94.0	96.2	-2.2	92.6	95.1	-2.5
友達関係に満足している	95.2	91.1	+4.1	95.1	91.2	+3.9
学校に行くのは楽しい	89.2	85.7	+3.5	77.8	85.4	-7.6
違う意見を言っても否定されない	66.6	69.6	-3.0	71.6	67.5	+4.1

「友達関係に満足している」児童生徒が、全国平均を大きく上回っています。また、異なる意見を受け入れる雰囲気が、小学生から中学生に進むにつれて醸成されていく様子が見て取れます。しかしながら、困っている人を進んで助けたり、学校に行くのが楽しいと感じる児童生徒の割合は、小学校から中学校にかけて減少の傾向にあります。これは、より周囲の目を気にするようになっていったり、学業や部活動、友人関係や進路などの悩みに直面する機会が増えたりと、発達段階に応じた気持ちの変化が表れているとも考えられます。また、近年のメディアやSNSで「炎上」が報じられる影響か、理由があればいじめられるのも仕方ないという感覚に、全国平均と比較して課題のある様子が見て取れます。様々な悩みに出会い、多感な時期を過ごす子どもたちを、周囲の大人たちがどう支えていくかが重要です。

◎キャリア教育により夢と日々の学びをつなぐ

(%)

質問内容	【小学６年生】肯定的な回答			【中学３年生】肯定的な回答		
	伯耆町	全国	比較	伯耆町	全国	比較
将来の夢や目標を持っている	83.4	81.2	+1.6	58.0	67.6	-9.6
人の役に立つ人間になりたい	96.4	95.4	+0.6	93.8	95.9	-2.1
新聞を週に１回以上読んでいる	20.3	10.0	+10.3	14.8	6.2	+8.6
地域や社会をよくしたい	80.9	80.1	+0.8	72.8	72.3	+0.5

「将来の夢や目標を持っている」について、中学校で全国値を下回っているものの、人の役に立ちたい、地域や社会をよくしたいという思いを抱いています。

夢や目標と、目の前の学習をていねいにつなぎ、地域貢献活動と日々の学習の目的について、キャリア教育の中で進路を切り開いていってほしいものです。

また、「新聞を読む」等の機会において、読書と同様に例年高い値となっています。新聞はその一つひとつの記事が厳しいチェックを経て世に出ている信頼性の高いメディアです。新聞に触れることで、社会への関心を高め、視野を広げていってほしいものです。

まとめ

学力調査では、全国平均、県平均と比較し、小学校、中学校ともにおおむね良好な状況です。本町としては引き続き教員の授業研究会等を通じて、よりよい授業づくりの取り組みをつなげていきたいと思います。また、中学校区ごとの「保小中一貫教育」を通じた学校と保育園の連携や、コミュニティー・スクールを通じた家庭や地域との連携も継続的に行い、学力と人間力の育成を推進していきたいと思います。



また、質問調査の結果からは、伯耆町のよさが見えてきます。

町ぐるみの子育てや主体性を育む教育実践など、今後も、「知・徳・体」のバランスのとれた教育を推進していけるよう、様々な取り組みを充実させていきたいと思います。

問い合わせ先　教育委員会事務局 総務学事室　0859-62-0927